

普及活動情勢報告（令和6年12月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

スマート機器でらくらく選果

～非接触型AI画像解析選別機によるユズの選果（いの町）～



ユズの選果選別は、6等級8階級に分ける必要があり、特に等級の選別は熟練した選果人でないとできません。しかし、吾北地域では選果人の高齢化に伴い共同選果ができなくなり、令和5年度に自動選果機を導入しました。本年も11月25日に機械選果を実施しました。

農業改良普及課は、利用者とともに前年度の改善点を明らかにし、機械の改修、設定調整等に係るアドバイスを実施しました。

利用者からは、課題が概ね改善されており、結果は良好との評価を得ました。

農業改良普及課は、今後ともスマート機器も利用した農業を展開し、生産者・JAとともに生産振興を進めていきます。

農福連携を目指して

～農福支援者対象ピーマン収穫体験会の開催（土佐市）～



11月29日、農福連携の支援者を対象としたピーマン収穫体験会をJA、土佐市、農業改良普及課で協力して開催し、土佐市といの町の社会福祉協議会の福祉士等10人が収穫作業を体験しました。

農業改良普及課は、作業のサポートを行うとともに、障がい者等が作業を行う際の課題について福祉士と確認を行いました。福祉士から、「実際に体験したことで、支援対象者に伝えやすい」「個々の資質に合った作業を提案できる」といった意見を聞くことができました。

農業改良普及課は、関係機関と協力して、今後も農福連携の実現と新たな労働力の掘り起こしの取組を支援します。

土佐市ピーマン部会現地検討会

～SAWACHI新機能の紹介～



12月6日、土佐市ピーマン部会で現地検討会が開催され、生産者23人が参加しました。現地ほ場3か所を巡回し、整枝方法や栽培管理について意見交換が行われました。

農業改良普及課からは、SAWACHIの新機能（花数・実数AI）について紹介し、未登録農家への利用を呼びかけました。

SAWACHIユーザーである生産者から、「SAWACHIニュースがけっこう面白い」「出荷量をこれまでエクセル入力していたが、SAWACHIで見れるので入力の手間が省けた」等の意見が出されました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携してピーマンの生産振興につながる取組を実施していきます。

大学生に高知県の農業をPR
～高知大学農林海洋科学部で出前授業を開催（土佐市）～



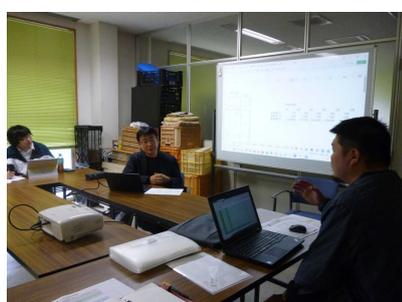
12月6日、高知大学物部キャンパスで、農業担い手支援課、農業イノベーション推進課、4農業改良普及課・所とともに、高知県の農業やI o P、担い手確保に向けた取組、各産地を紹介する講座を開催し、生徒111人が参加しました。

農業改良普及課は、講座を企画・調整するとともに、土佐市で就農するまでの流れや新規就農者の事例を紹介しました。

3割程度の生徒から、「一度就職してから、または時期は決まっていないが、仕事の選択肢として農業はあり得る」との声がありました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携して、担い手確保に向けた取組を継続していきます。

資金繰り表から見る経営内容の見直しを！
～税理士との面談による検討会の開催（いの町）～



12月11日、経営発展志向農家が、いの町農業公社で税理士と面談を行いました。税理士と共に資金繰り表を作成し、借入金の返済や今後の規模拡大に係る資金繰りについて話し合いました。

経営発展志向農家からは、このままの売上であれば資金ショート心配はないとのこと、規模拡大が現実的になりました。

農業改良普及課は、資金繰りに合わせた売上の確保や、規模拡大のための事業導入等について、関係機関と連携しながら支援していきます。

オランダ・スペインの農業について学ぶ
～土佐市環境制御技術研究会で報告会を開催～



12月13日、土佐市環境制御技術研究会が報告会を開催し、土佐市・高知市春野町管内の生産者28人が参加しました。農業技術センター研究員を講師に招き、「オランダの環境制御技術と高知施設園芸への適応」について報告していただきました。農業改良普及課からは「スペイン農業の現状と持続可能性」について報告し、これからの高知の農業について意見交換を行いました。

参加者からは、「高知施設園芸の強みは、やはり高い生産技術」「他の地域の農業について学ぶことは刺激になる」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、産地振興に向けた取組を実施していきます。